

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援☆放課後等デイサービスAQUA		
○保護者評価実施期間	R6年 7月 1日 ～ R7年 6月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	25
○従業者評価実施期間	R6年 7月 1日 ～ R7年 6月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 7月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師・リハビリテーション・保育と各専門職の配置があり、サービス内容全般に質の高いケアを提供でき満足度も高い。	医療の専門家である看護師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と療育の専門家である保育士がリハプログラムと療育プログラムを総合的に構成した個別ケアを提供している。	外部研修内容も職員内で共有し、スタッフのスキルアップを目指す。
2	施設的环境面が、整備されており重症心身障害児を受け入れるにあたり十分なスペースと配慮がなされている。ST室の設置を準備しており、個別対応がさらに充実する。	広い療育スペースの中で、重症心身障害児でも個別対応・集団対応共に十分に実現できる。また、各専門職の知見から活動の種類も豊富に用意され提供できている。	現在の環境を継続できるよう設備の管理を定期的に行い、安心安全に利用できる施設づくりを行う。
3	近隣にアクアドームが隣接しており、屋外遊びや社会参加の機会を多く提供できる。地域住民や近隣の事業所と共同でイベントも開催。	アクアドームの目の前という好立地の為、地域住民の方との交流も生まれやすい。遊びたいときにいつでも遊べる環境がある。	公園の目の前という立地を最大限に活用し、地域住民との交流や子どもたちの活動の充実を図ることで、事業所の魅力をさらに高める。これらの取り組みを通じて、地域社会とのつながりを深め、子どもたちがより豊かな経験を積める環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加型のイベントを複数回行っているが、療育以外の場面（保護者のみの親睦会・相談会）の希望あり。	イベントの際に保護者の参加を集い、茶話会の場面を設けた。曜日によっては参加できていない保護者様もいる為、実施日に配慮していく。	年間行事の中で、保護者会をあらかじめ設定しておく。活動アンケートなどで興味を引くテーマを募集する。お便りで情報発信し、参加しやすい環境づくりにも取り組む。
2	事業運営へのご意見を多くいただける関係性を目指す。	保護者会の設定や、送迎時の保護者からの情報収集を通じて関係性の構築に努めている。	スタッフ紹介を作成し公表したことで、名前と顔が一致したとお声をいただいている。今後も更新しつつ提示していく。
3			